

心を動かす 保健指導を学ぶ

たばこの煙が喫煙者本人や周囲の人の健康に悪影響を及ぼすことは、明らかになっています。特に、生活習慣病の発症や重症化の要因となることが指摘されており、平成25年4月の改訂以降、「標準的な検診・保健指導プログラム」において、健診当日から喫煙に関する保健指導が強化されています。

近年、喫煙率は減少傾向ではあるものの、国民健康・栄養調査結果によると、30歳代～50歳代男性の喫煙率は依然と高く、特に、40歳代男性は、約3割が喫煙をしている状況でした。

国は、第2期「がん対策推進基本計画」において、「2022年度までに成人喫煙率を12%とすること」が掲げており、働き盛り世代の健康を管理する産業保健スタッフや、健診事後指導を担当する保健師等に期待される役割は大きくなっています。

そこで、喫煙の害や近年利用者が増えている「加熱式たばこの害」及び「短時間から始められる効果的な禁煙指導の方法」について、セミナーを開催します。

禁煙指導に関するセミナー

加熱式たばこに関する正しい理解と 短時間禁煙指導の実際について

講師

広島産業保健総合支援センター 産業保健相談員
(津谷内科呼吸器科クリニック 理事長)

津谷 隆史 氏

日時

令和4年

10/7 (金)
15:00～16:30

ハイブリッド開催(受講料無料)

会場 (定員34名)

広島国際会議場小会議「ラン」

(広島市中区中島町1-5)

オンライン研修 (定員100名): Zoom

対象

産業保健スタッフ、医療関係者(保健師、看護師等)、
禁煙相談支援に携わっている方など

(禁煙支援に興味関心がある方はどなたでも参加できます)

申込はこちらから



主催: (独) 広島産業保健総合支援センター

共催: 広島市、全国健康保険協会広島支部

【問合せ・申込先】

(独) 労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター

☎ 082-224-1361 ☑ info@hiroshimas.johas.go.jp

<https://www.hiroshimas.johas.go.jp>